KYOCERA
Document Solutions

CSR Report 2012

SUMMARY

Social and Environmental Report

京セラドキュメントソリューションズ

Living Together

京セラドキュメントソリューションズを支える、全ての皆様と

京セラドキュメントソリューションズを支える全ての人と、共に生きる（Living Together）こと。
「社会との共生」、「世界との共生」、「自然との共生」という経営思想が、京セラドキュメントソリューションズの企業活動の基本です。
コミュニティーの一員として、地域の活動に積極的に取り組むこと。
グローバルに事業を展開する企業として、現地の法令を順守することはもとより、ステークホルダーの要請に応えること。
製品のLCAを通じて環境負荷を低減するだけでなく、さまざまな生物の生息環境を守ること。
それらの活動の中から生み出される地球にやさしい製品をお客様に使っていただき、
お客様の声からさらに改善を積み重ねていく、この活動を永遠に継続することによって、
お客様や従業員、近隣の皆様に認められ、成長する企業でありたいと思います。

Contents

CSR Report 2012
Social and Environmental Report

[3] 編集方針

[4] トップコミットメント

CSRマネジメント

[6] 経営に関する基本的な考え方

[7] CSR理念/CSR活動方針

特集

[8] 新たな環境技術に挑戦を続ける

環境報告

[12] エコシスコンセプト

[14] LCA（ライフサイクルアセスメント）の実践

[15] 資源循環の取り組み

[16] 自然との共生をめざすボランティア活動

[17] 販売拠点、生産拠点での取り組み

特集

[18] 共に生きる社会を目指して

社会性報告

[20] 社会貢献への取り組み

[21] 各分科会の取り組み

[22] 海外事業所の取り組み

[23] 品質保証の取り組み

[24] お取引先との連携のために

[25] 社員のよりよい人生のために

[26] 事業概要

編集方針

京セラドキュメントソリューションズの経営理念、環境経営、および社会的責任についての考え方、取り組み内容を広くステークホルダーの皆様にご理解をいただくため、当社ホームページ上に「CSR活動」として掲載しています。本冊子は、ホームページに掲載している内容についてその概要を簡潔にまとめたものです。

本年のCSR活動では、環境性に配慮した製品開発に取り組む技術者の姿と、当社の社会貢献活動の一端を特集記事で紹介しています。

当社の取り組みに対して皆様の声をお聞かせいただき、今後の活動に活かしていきたいと考えていますので、ご意見、ご感想をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

対象範囲

当社ホームページ上、および本冊子の報告対象は京セラドキュメントソリューションズ株式会社とその連結対象子会社ですが、一部の記事、トピックスについては連結対象子会社傘下の現地法人についても含めております。 2009年1月から当社の連結子会社となったトライアンフアドラー社に関しては、売上高と社員数のみを含めています。

■対象期間
2011年度（2011年4月1日～2012年3月31日）を中心に、一部過去からの取り組みや直近（4月以降）の活動についても記述しています。

■発行日
2012年10月

■制作
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
CSR本部 リスク管理課

お客様にトータル・ドキュメント・ソリューションを提供するとともに、社会の進歩発展に貢献します

トータル・ドキュメント・ソリューション・カンパニーとして生まれ変わります

2012年4月、当社は社名を京セラドキュメントソリューションズ株式会社に改め、新たな一歩を踏み出しました。

モバイル情報機器やクラウドコンピューティングなどの普及によりドキュメント環境が大きく変化している今、従来のペーパードキュメントの出力から、時間や場所に左右されず自由にドキュメント業務を行いたい、文書データの管理も効率的に行いたい、セキュリティーに対しても万全の体制を構築したいなど、お客様のニーズも多様化しています。「わたしたちの果たすべき役割は、ドキュメント機器の販売や保守サービスを提供するだけに留まらず、お客様の求める新たな要望や課題に対して最適な解決策をスピーディーに提供し続けるトータル・ドキュメント・ソリューション・カンパニーである」との想いを社名に託しました。

お客様視点でものづくりを行い、お客様視点でソリューションを提供する･･･京セラドキュメントソリューションズは、お客様を第一に考え、お客様と共に成長発展する企業でありたいと願っています。

お客様の要望に「エコシスコンセプト」で応えていきます

地球温暖化の問題が今ほどクローズアップされる以前の1989年当時、わたしたちは、「環境負荷を低減させたい（エコロジー）」「低コストを実現したい（エコノミー）」という、社会のニーズやお客様の要望に応えるため、環境に配慮した製品の開発に着手し、1992年、環境性と経済性を両立させた「エコシスコンセプト」の製品開発に成功しました。その名を冠した「エコシス」プリンターは、心臓部である感光体ドラムに長寿命アモルファスシリコンドラムを採用するとともに、その周辺の部品も長寿命化することで、トナーを補給するだけで製品寿命まで使い続けることができます。製品そのものを徹底して長寿命化することで、廃棄物を減少し、ランニングコストも削減するという命題に応えるため、今日までの20年間、弛まずその長寿命化技術に磨きをかけてきました。

さらに長寿命化技術に加えて、唯一補給しなければならないトナーについても、世界初となるCO_2の発生を抑制する、非穀物由来のバイオマスプラスチックを原料とする「バイオマスカラートナー」を市場投入します。これも、より環境負荷を低減させたいという、社会のニーズにお応えする製品です。

当社は、製品をつくる段階、お客様が使用される段階、さらには使用後の廃棄リサイクルの段階など製品のライフサイクルにおいて、「環境負荷の低減」をお約束する製品を提供し続けるため「エコシスコンセプト」をさらに進化させ、これからも地球環境の保全に貢献してまいります。

＜共に生きる＞をベースに、グローバルでCSR活動を推進します

当社のグローバル体制は年々拡大し、世界各地に70社を超える現地販売会社、生産工場を有し、全世界142カ国に販売網を展開しています。

2011年10月にロシアに販売会社を設立、2012年3月にチェコ共和国にトナー充填工場が稼働、10月にはプリンターと複合機を生産するベトナム工場を稼働させました。ベトナム工場では、製造拠点としての役割だけではなく、研究開発の機能も持たせ、技術者をめざして集まった人々に高いスキルを提供します。これらの取り組みが多くの人々に将来への希望を与えるとともに、地元ハイフォン市、ベトナム社会主義共和国の進歩発展に貢献出来るものと信じています。

それぞれの国や地域で育まれてきた歴史・文化・慣習・法令などを尊重しつつ、企業活動を通してその国、その地域の発展に寄与する、＜共に生きる＞ことが、社会の公器としての企業のあり方と考えています。

その理念を実現するためにも、透明性の高い経営、公明正大な企業活動の徹底はもちろんのこと、地域社会、従業員と一体となって社会貢献に取り組み、より一層CSR活動の充実・推進に努めてまいります。

当社は京セラグループの一員として、「社会との共生・世界との共生・自然との共生。共に生きる（LIVING TOGETHER）」という経営思想によって企業活動を展開しています。これからも「共に生きる（LIVING TOGETHER）」をすべての企業活動の基本に置き、人と社会と共に歩む企業グループであり続けたいと願っています。

最後に、このCSR報告書を通してステークホルダーの皆様に当社の方針や取り組みをご理解いただくとともに、ぜひ忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　**駒口 克己**

社是

敬天愛人

敬天愛人

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を
追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる（LIVING TOGETHER）ことを
すべての企業活動の基本に置き、
豊かな調和をめざす。

京セラフィロソフィをベースにした経営

当社は、京セラグループの経営理念を実現するため、経営の原点である「京セラフィロソフィ」をベースに経営をしています。京セラフィロソフィは、京セラグループ創業者である稲盛和夫の実体験や経験則に基づいた人生哲学であり、「人間として何が正しいか」を判断基準として、人として当然持つべきプリミティブな倫理観、道徳観、社会規範に従って、誰に対しても恥じることのない公明正大な経営、業務運営を行っていくことの重要性を説いています。社員が、自ら積極的に京セラフィロソフィを理解し、高い良識のある行動を実践するために、「京セラフィロソフィ手帳」「京セラ行動指針手帳」を、また、会社の実態と進むべき方向性を正しく把握するために「京セラ会計学手帳」を全社員に配付しています。

京セラ フィロソフィ手帳

京セラフィロソフィ手帳は、「京セラフィロソフィ」のエッセンスを集め、項目ごとに整理しその精神について解説をつけ加えたもので、①会社の規範となるべき規則、約束事　②企業がめざすべき目的、目標を達成するために必要な考え方　③企業にすばらしい社格を与える　④人間として正しい生き方、あるべき姿を示しています。

京セラ 行動指針手帳

グローバル化が進む時にあり、企業および企業人には普遍的な理念と透明性の高いルールに基づく良識ある行動、姿勢が求められています。京セラ行動指針は、京セラフィロソフィをベースに企業活動の諸側面に照らし合わせグループ社員が日々業務を行う上で基本とすべき行動指針を定めています。

京セラ 会計学手帳

会計とは企業経営において目標に至るための“羅針盤”の役割を果たすものであり、企業経営になくてはならない重要なものです。京セラ会計学は一対一対応の原則、ダブルチェックの原則、筋肉質経営の原則など、会社の実態とその進むべき方向を正しく把握するための実践的な会計原則となっています。

WEBはコチラ!　「京セラドキュメントソリューションズの経営理念」

京セラドキュメントソリューションズ　経営理念　CSR　検索

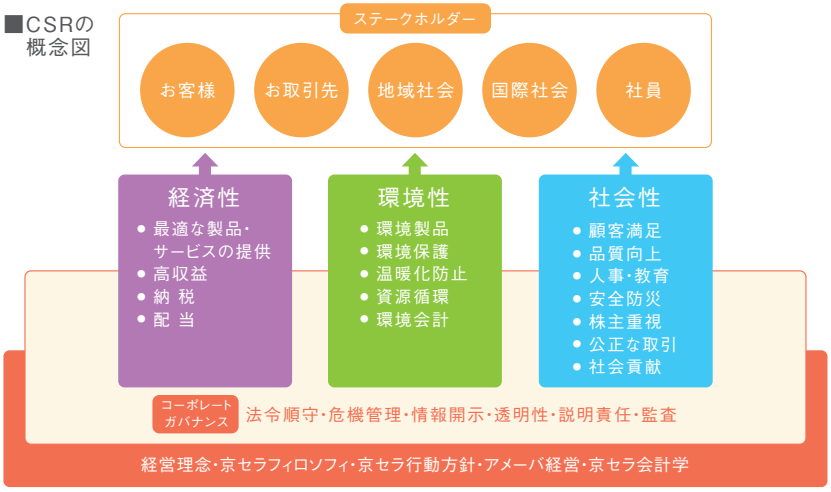
CSR理念/CSR活動方針

京セラドキュメントソリューションズグループは「敬天愛人」を社是に、「全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、人類、社会の進歩発展に貢献する」ことを経営の根幹としています。人の心を基本とする京セラフィロソフィにより、「公正、誠実、博愛、努力」など、「人間として何が正しいか」という考え方を規範として、「利他の心」をもって「世のため、人のために尽くす」ことに努めています。

経営理念の実践こそがCSR経営

京セラドキュメントソリューションズグループにとってのCSR経営は、経営の根幹である「京セラフィロソフィ」の実践そのものです。より良い製品・サービスの提供や、環境保全、社会貢献等を通して社会の要求に対応することで、ステークホルダーとの相互信頼を構築、持続できるよう、透明性の高い企業経営を行い、社会とともに発展していくことを考えています。

■CSRの概念図



CSRへの取り組み

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制

当社にも米国企業改革法404条が適用されており、内部監査部門が、同法に基づく財務報告にかかる内部統制監査を含め、京セラドキュメントソリューションズグループ全体に対して業務監査を実施し、内部統制体制のさらなる強化に努めています。

内部監査

内部監査室が隔年で国内外の全連結対象会社を対象に業務監査を実施しています。当社グループには国内外に70を超える連結対象会社があり、2010年度は32の事業所（関連会社および支店）の業務監査を実施しました。

GM研修

2010年より、海外関連会社の社長、ジェネラル・マネージャー等を対象としたGM研修を実施しています。2011年度は、本社で4回の研修が開催され、計19社の責任者が受講しました。2012年度は、36社の責任者を対象に、計8回の研修を計画しています。

リスクマネージメント

リスク管理体制

社長をリスク管理統括責任者とし、各部門長、事業所長、関連会社の代表者によるリスク管理委員と各組織が選任したリスク管理担当者、管理事務局で構成されるリスク管理委員会によりリスク管理体制を構築。危機管理マニュアル等の規程を全社員に公開しています。

情報セキュリティー

技術情報や個人情報等の情報管理の徹底は、企業の社会的責任を果たす上で重要な責務です。当社は、社長を委員長とした情報セキュリティー委員会のもと、「情報セキュリティー基本方針」「個人情報保護基本方針」を制定し、管理の徹底を図っています。

法令監査

当社および国内関連会社では、京セラグループ共通の法令チェックリストにより、各部門で法令自主監査を行い、その結果を監査部門が精査。さらにリスク管理部門による法令監査を実施しています。

新たな環境技術に挑戦を続ける

“地球環境に与える負荷を可能な限り低減していきたい”。
そんな想いから私たちは「エコシスコンセプト」を掲げ、
環境性に優れた製品を送り出してきました。
そして今回、植物由来の原料を使用した
世界初のバイオマスカラートナーの開発に成功。
環境負荷低減に貢献する製品として大きな注目を集めています。

技術本部
プロセス開発統括部
大喜多 正希

決してあきらめない技術者たちの情熱が“世界初”を実現

ある一人の技術者の研究から始まり「エコ製品のリーディングカンパニーとして、環境保護の未来を変え得るような新しい価値を持った製品を」という想いから、2010年には本格的に開発を開始。さまざまな制約を抱える非穀物系原材料ゆえに、その道のりは困難を極めました。しかし「環境に良いものづくりを」という社内共通の意識と仲間同士の絆、決してあきらめない技術者たちの情熱が結集して“世界初”のエコ製品が誕生したのです。

エコシスコンセプトを掲げる企業としての使命感

環境に配慮した「エコロジー」と、ランニングコストを最小化する「エコノミー」。その二つを同時に叶えるため、これまでに無かった長寿命な製品をつくり出してきた企業として、常に環境技術の可能性を切り拓くことが使命であると考え、限りある資源を有効利用し、持続可能な形で循環させる「循環型社会」へのアプローチを開始。バイオマス※の商品化を課題に挙げ、その一環として2009年にバイオマスカラートナーの開発に取りかかりました。

※バイオマス／木材、海草、植物などの再生可能な生物由来の有機性エネルギーや資源のことで、1年～数十年単位で再生産できる植物体を起源とするものを指す。
バイオマスに含まれる炭素成分はその成長過程で、大気中の二酸化炭素を吸収して固定化されたもので、それらを利用しても大気中の二酸化炭素の量は変わらないと言われている。

▶▶ 新しいエコロジーをもたらすバイオマスカラートナー

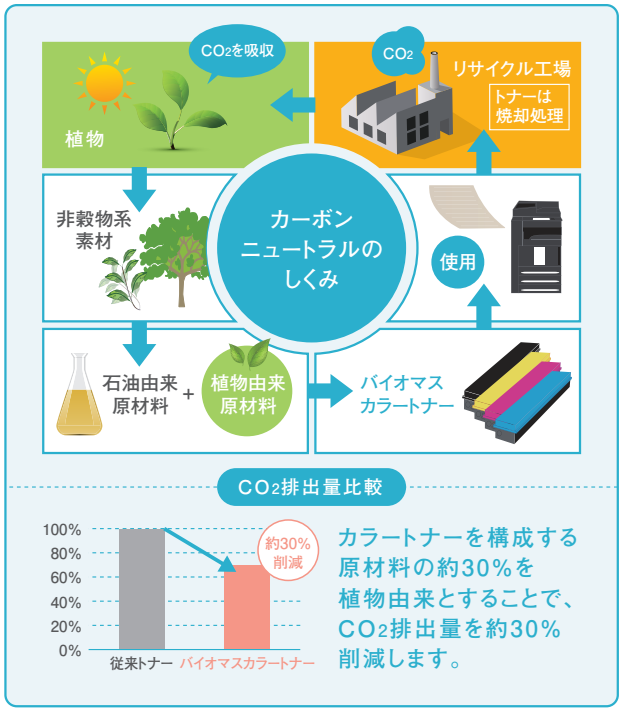
原材料の約30%に非穀物系の植物由来の樹脂を使用

バイオマスカラートナー開発の大きなこだわりのひとつが植物由来の原材料を使用していることです。従来のカラートナーには、原材料の全てに石油由来の樹脂が使われていました。その一部を短いサイクルで再生可能な植物由来のものに切り替えることで、限りある石油資源の節約につながります。また、世界の食糧事情などを考慮して、原材料の選定では人や家畜が食べることのできない非穀物系の植物に限定しました。

廃棄焼却時のCO_2排出量を約30%削減して環境負荷低減に貢献

カラーコピーされた用紙は、通常リサイクルの過程で紙の繊維と残滓（ざんし）と呼ばれる残りの成分に分けられます。紙の繊維は再生紙としてリサイクルされますが、カラートナーの成分を含む残滓は焼却処分され、その際CO_2（二酸化炭素）が排出されます。当社では、このCO_2を減らすことが地球の環境負荷低減に繋がると考え、バイオマスカラートナーには植物由来の原材料を約30%使用。植物が焼却される際に発生するCO_2は、その成長過程で吸収したCO_2と同量だと考えられるため、大気中のCO_2総量には影響しません。そのため、バイオマスカラートナーの場合、従来の石油由来のトナーと比較し、焼却時のCO_2排出量が約30%削減されることになります。

紙のリサイクル行程で、
取り除かれたトナーなどの残滓



PICK UP エコプロダクツ展での反響

国内最大級のエコプロダクツ&エコサービスに関する環境展示会・エコプロダクツ展に、2009年から2011年の3年連続で出展。改良を重ねレベルアップしていくバイオマスカラートナーは大きな関心を集め、同業他社の皆様からは最初からカラーでの開発に踏み切ったことに、驚きの声があがりました。また、環境意識の高い企業や一般来場者の皆様から「一刻も早い商品化を」という力強い声をいただきました。

WEBはコチラ! 「世界初のバイオマスカラートナー開発ストーリー」 京セラドキュメントソリューションズ　バイオマスカラートナー　CSR 検索

▶▶ バイオマスカラートナーを実現した開発チームの情熱

非穀物系原材料へのこだわり

開発当初は植物由来の原材料として、試作にはとうもろこしを使用しました。想像以上に出来が良く、参考出品として2009年エコプロダクツ展に出品。反響の大きさから、正式に商品化プロジェクトが始まりました。

しかし、正式な開発スタートにあたり世界の食糧事情を考慮し、人や家畜が食べない「非穀物系原材料」に変更。これには、廃材の二次利用によるさらなるエコの可能性を探るという意図も含まれていました。ひとことで「非穀物系原材料」と言ってもさまざまな種類があり、その中から最適なものを探し出すのは困難を極めました。同時に、さまざまな制約もついてまわり、含有率を目標の30%まで引き上げる設計段階でも試行錯誤が繰り返されたのです。

従来の石油由来のカラートナーと同レベルの高品質を追求

バイオマスカラートナーは単に原材料を植物由来にしただけでなく、従来の石油由来の製品と同等の高品質を実現しています（当社比）。材料の制約というハンデを抱えながら、その高品質で世界から高く評価されている従来の石油由来のカラートナーと同性能を追求することは、最も難しいポイントでした。

また、当社のエコシスプリンターは低温度でトナーが定着する省エネ設計になっており、溶けにくい非穀物系原材料で同じスペックを実現するには、「低温度で溶けて定着することに加え、輸送時の高温下でも固まらず粉状が保てる」という高度で複雑な設計が必要でした。さらに色の透明性や発色性、高温多湿な東南アジアから低温低湿のヨーロッパまであらゆる気候条件でも同じ高画像品質を保つ対応力など、困難の連続でした。

200種類以上のトナーを試作

4色分が必要なカラートナー開発では、各色で設計も問題点も異なるため単純に4倍の労力がかかります。また、初めての材料ということもあり、過去の経験値だけでは計りしれない部分も多く、微妙に配合を変えながら4色合わせて200種類以上の試作を重ねた結果、ようやく今の設計に辿り着くことができたのです。

総勢30名を超える開発チームの取り組み

開発にはコアメンバー8名に加え、マシン設計、制御するソフトのチームなど総勢30名を超えるメンバーが関わり、部署の垣根を越えて困難を乗り越えてきました。また、実用化に向けては、新しいトナーに併せた微妙な製品チューニングも必要です。「長期的に使い込んだ時点でも性能を保てるのか」「高温多湿、低温低湿でも使えるのか」等、マシン設計サイドでは、ありとあらゆる条件に対するチューニングを実施。当初は、その扱いづらさに不安の声もありましたが、性能が求めるレベルに近づくにつれ、チーム全体が「これならいける!」という高揚感に包まれました。

▲バイオマスカラートナー開発チーム

▶▶ より高いレベルの環境技術の可能性を求めて

非穀物系原材料の割合を上げて、さらなるCO_2排出量削減を

今回のバイオマスカラートナーでは約30%のCO_2排出量削減に成功しました。非穀物系原材料の割合が高ければ高いほどCO_2排出量は減っていくため、今後もさらなる技術改良を加え、可能な限り高い割合を目指していきます。また、非穀物系原材料の選定に関しても、より地球に優しい材料の可能性を視点に入れて開発を続けていきます。

この製品の最終的な成功は、環境負荷低減というメインコンセプトが普及し、世界中でバイオマスカラートナーのシェアを増やすことで実際にCO_2排出量削減に貢献できるかどうかにかかっています。そのためにも、京セラドキュメントソリューションズは常に地球の未来を見据え、新しい価値やソリューションを追求しながら環境技術の可能性をリードできる存在でありたいと考えています。

バイオマスカラートナーの付加価値を浸透させることが成功への一歩

バイオマスカラートナーは材料にかなりの制約がある上、開発されたばかりの未知数な商品であることから生産量が限られ、通常の製品よりコスト増となっています。可能な限りお客様に負担をかけない価格設定を目指していますが、まずはこの製品がもたらす環境的付加価値を認めていただけるかどうかが、バイオマスカラートナー普及の鍵となることが予想されます。

「バイオマスカラートナー採用による地球の環境負荷低減」を実現するためにも、当社では企業使命としてお客様のご理解とご賛同を得られるよう真摯に普及に取り組んでいきます。

2012年度中に販売開始予定

BIOMASS COLOR TONER

バイオマスプラ 登録 NO.180

バイオマスカラートナーは、2012年度中に発売開始予定です。植物由来の材料とトナーとしての性能を確保するために製造工程にかなりの制約があり、発売に向けて様々なハードルがありましたが、お客様のご迷惑にならないようにあらゆるケースを想定したテストを行いながら調整を続け、万全を期して製品としての最終段階にたどりつきました。

世界初の製品を世に送り出すこと自体はたいへん嬉しく誇らしいことですが、これはあくまで第一歩にすぎません。今後さらにハードルの高い製品を展開し、バイオマスカラートナーを浸透させていく。そんな使命感を胸に、開発チーム一同、身の引き締まる想いで販売開始日を迎えようとしています。

WEBはコチラ! 「世界初のバイオマスカラートナー開発ストーリー」 京セラドキュメントソリューションズ　バイオマスカラートナー　CSR 検索

ECOLOGY REPORT

製品の取り組み

エコシスコンセプト

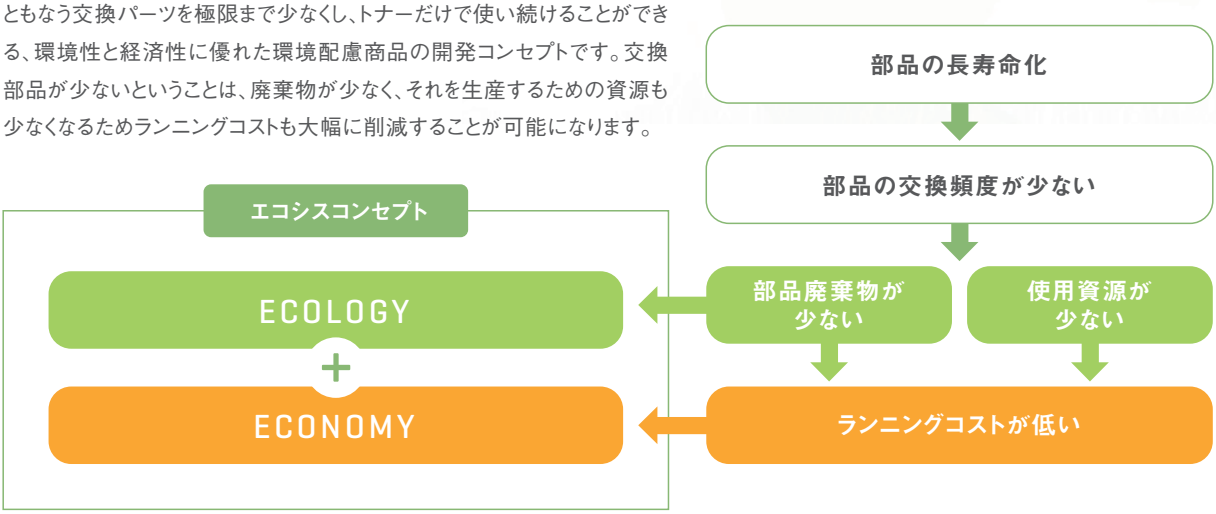
1992年初代エコシスプリンター「ECOSYS FS-1500」の
誕生以来、長寿命化技術に基づく
環境性（ecology）と経済性（economy）に
優れた環境配慮製品のコンセプトです。

初代エコシスプリンター「ECOSYS FS-1500」

エコシスコンセプトとは

エコシスコンセプトとは当社独自の長寿命化技術で、プリンターの稼働にともなう交換パーツを極限まで少なくし、トナーだけで使い続けることができる、環境性と経済性に優れた環境配慮商品の開発コンセプトです。交換部品が少ないということは、廃棄物が少なく、それを生産するための資源も少なくなるためランニングコストも大幅に削減することが可能になります。

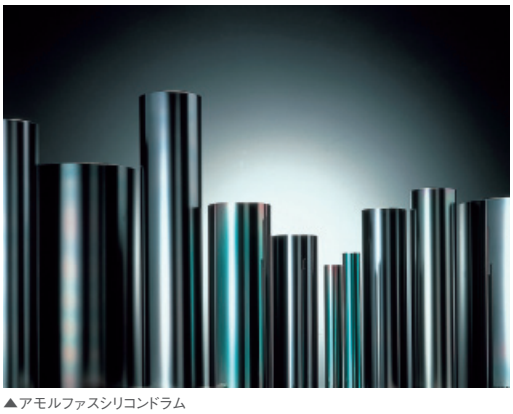
■エコシスコンセプトの特徴



エコシスプリンターの特徴

地球環境への負荷が少ないプリンター

当社では京セラの長寿命を誇るa-Si感光体（アモルファスシリコン感光体）を採用し、またその周辺部品も徹底して長寿命化することで製品寿命までほとんどの部品を交換することなく使用することができます。以前の一般的なプリンターでは画像を形成する感光体ドラム、現像装置など主要な部品の寿命が短く、長期にわたって画質を維持することは困難であり、メンテナンスも容易でないため、消耗品としてのトナーが無くなると同時に感光体とそれら周辺の部品も一体で交換し廃棄していました。エコシスプリンターではその必要がなく、廃棄リサイクル以前に廃棄物自体の少ない、環境に優しいプリンターといえます。



▲アモルファスシリコンドラム

WEBはコチラ!　「製品の取り組み」　京セラドキュメントソリューションズ　エコシスコンセプト　CSR　検索

ランニングコストが低いプリンター

エコシスプリンターはトナーを補給するだけでその製品本体の寿命まで使い続けることができます。そのため、ランニングにともなう、消耗品のコストも低減できるため、お客様にも経済的にご使用いただけます。たとえばカラープリンターECOSYS FS-C8650DNでは、カラー1枚4.8円※モノクロ1枚0.6※と経済的にお使いいただけます。

※ISO/IEC19752標準原稿換算トナー価格より算出。実際のトナー消費量は印刷環境、印刷条件などにより異なります。

FS-C5250DN　FS-C8650DN

エコシスプリンターの優位性

エコシスプリンターは長持ちパーツでトナーのみを交換する「オンリートナー」方式。
消耗品のライフサイクルを真面目に考えた、地球と財布に優しいプリンターです。

■ 一般的なプリンター

■ エコシスプリンター

エコシスコンセプトの評価

ものづくりの原点となるエコシスコンセプトは、その高い環境性と経済性が認められ、技術関連団体、欧米の製品テスト機関から評価され表彰を受けています。

第46回大河内記念技術賞を受賞

2000年4月には、エコシスプリンターが、長寿命電子写真プロセスの開発と環境配慮プリンター商品化により、第46回大河内記念技術賞を受賞。2003年6月には、長寿命化による圧倒的な印字コストの低減、クラス最小・最軽量の小型化を実現などの理由により、日本画像学会の技術賞を受賞しました。

▲2000年3月
大河内記念技術賞受賞

▲2003年度
日本画像学会表彰技術賞した
世界最小カラータンデムプリンター
FS-C5016N

BLI社 2011年 “Line of the Year”賞を受賞

米国で事務機器の信頼性、生産性、画質、ユーザビリティなどを評価している、独立系の評価機関BLI社（Buyers Laboratory Inc.）から、2011年冬、モノクロプリンターにおいてECOSYS FS-3140MFP、ECOSYS FS-1320Dなどの当社プリンターの優れたラインアップが認められて、”Line of the Year”を受賞しました。

▲Line of the Year
金賞リボン

ECOLOGY REPORT

環境への負荷を減らすために

LCA（ライフサイクルアセスメント）の実践

トータルで環境に良い製品を提供し、社会の意識を変えていきたい。

CSR本部 環境部
製品環境課
玉野 成徹

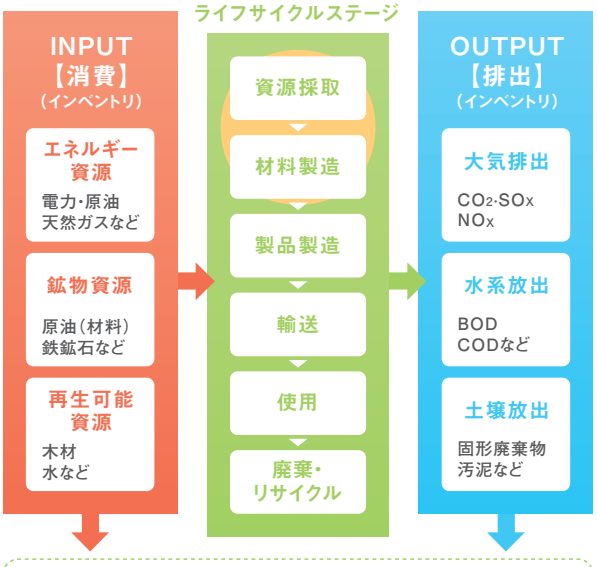
「ものづくりの企業として、本当に環境に良い製品をつくりたい」。「LCA」を推進する上で、そう強く思っています。環境負荷を考える時に、使用時の数値で判断してしまいがちですが、資材調達や、製造工程など使用時以外にも実はさまざまな負荷が発生しています。「LCA」を導入すれば、製品に関わる全工程の負荷が「見える化」されるので、「本当にその製品が環境に良いのか」を私達自身も、お客様も判断することができます。まだまだ認知度の低い取り組みですが、だからこそ率先してこの価値観を提供し、社会全体の意識を変えていきたいですね。

生産拠点・事業所での取り組み

京セラドキュメントソリューションズは、京セラグループの一員として、「京セラ環境憲章」に基づいた活動を推進しており、生産拠点および本社事業所においては、環境行動計画に基づいて目標を定め、環境負荷低減の活動を展開しています。

LCA各ステージの見える化

当社では、製品が環境にもたらす負荷を製品のライフサイクル全体で把握し、低減させていくため、全製品のLCAを実施しています。



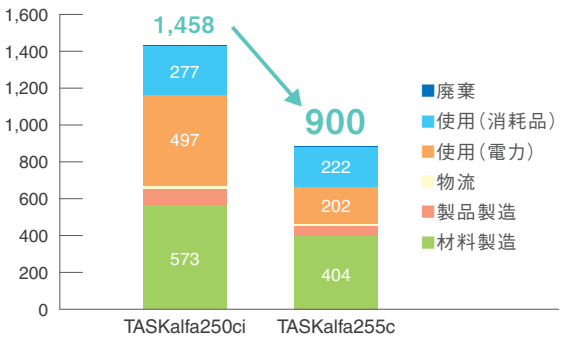
環境影響評価

［資源枯渇］［地球温暖化］［酸性化］等の環境影響度を各ステージにおける消費、排出データより、定量的に分析する。

期待される効果

1. 効果を数値で表せるため最適技術を選択できる
2. 環境負荷の低減効果の高い項目が評価できる
3. 一つの問題からもたらされる新たな環境負荷や他の段階への波及・移行を防止できる
4. 科学的・客観的な環境政策の根拠が得られる
5. 環境情報をタイムリーに提供、公開できる

■製品ライフサイクルにおける温暖化負荷比較（CO_2換算kg）



新電力制御技術採用によりSLEEP時1Wを達成
トナー消費量30%低減

ECOLOGY REPORT

環境への負荷を減らすために

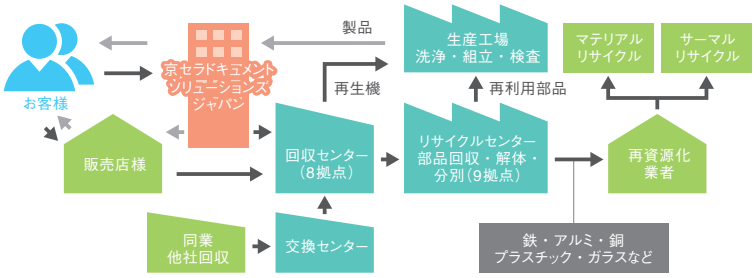
資源循環の取り組み

京セラドキュメントソリューションズは、市場で使用済みとなった自社製品を自社で回収・リサイクルするシステムを構築し運用しています。回収された使用済み製品は、当社のリサイクルセンターに運ばれ、部品一つひとつまで分解します。その後、新品部品と同様の検査を行い、再使用できる部品はリユースし、再使用できないものも徹底したリサイクルを行う資源循環システムを構築しています。

再使用・再資源化システム

当社は日本国内に8カ所の回収センターと9カ所のリサイクルセンターをそれぞれ設置し、使用済み製品やトナーコンテナーを回収、リサイクルしています。リサイクルセンターでは、再使用できない部品についてマテリアルリサイクルを優先した分別・処理を徹底的に行い、ゼロエミッションを維持しています。

■回収機のリサイクルフロー



再使用 トナーコンテナーの再使用

使用済みのトナーコンテナーはリサイクルセンターに送られ、基準に従って再使用可能かをチェック、再使用可能なものは再生工場へ送られます。清掃の後、外観検査や気密試験など新造品と同等の厳しい検査が行われ、合格したトナーコンテナーにトナーを充填し、再び製品として出荷しています。

▲再使用されるトナーコンテナー

再使用 部品の再使用

回収した使用済みの製品から再使用可能な部品を回収し、リユース部品として市場に供給する事業にも取り組んでいます。当社のリサイクルセンターでは厳重な検査を実施、合格したものだけを再びリユース部品として出荷しています。

▲回収されたプリント基板

部品の再資源化&梱包材の省資源化

当社では、製品・部品のリユースに取り組んでいます。リユースできない部分はマテリアルリサイクルを最優先とし、さらにマテリアルリサイクルができないものは、ケミカルリサイクル、サーマルリサイクルに取り組み、埋め立てによる最終処分を限りなくゼロに近づけています。

さらに梱包材のリサイクルを推進。近隣の出荷先には、製品の出荷時に用いる再利用率はほぼ100%を達成。遠隔地で回収・再利用が困難な出荷先については、樹脂製包装材の形状を変更し、樹脂使用量を従来の3割に抑えた梱包材を使用しています。

PICK UP チェコ共和国でトナー工場稼働

2012年3月、当社にとってヨーロッパ地域で初めてのトナー充填工場がチェコ共和国で稼働を開始しました。最新鋭設備で生産した消耗品トナーコンテナーをヨーロッパ倉庫（オランダ）へ直送することにより、輸送ルート短縮と燃料の削減を図ります。将来はヨーロッパのほぼ中心に位置する地の利を活かし、リユース事業の拠点としての拡大も計画しています。

▲ビルの外壁に板断熱材を採用した環境配慮型工場

▲トナーコンテナー生産ライン

WEBはコチラ!

「製品の取り組み」

京セラドキュメントソリューションズ　LCAの実践　CSR　検索

ECOLOGY REPORT

環境を守るために

自然との共生をめざすボランティア活動

環境保全への意識を高める、社会の「触媒」になれる活動を

環境保全活動として、現在三つの生物多様性の保全活動にとり組んでいます。大阪府能勢町・三草山で行っている「シジミチョウ」の保護活動では、参加していた社員親子が蝶を見ながら会話する姿が印象的でした。親子での会話を通じ、子どもたち自身にも環境保全への意識が少しずつ芽生えていくことを感じ、企業として環境保全に貢献するだけでなく個人が環境保全に目を向ける「きっかけ」を提供していきたいと思うようになりました。現在は、他団体の保全活動に参加させていただいていますが、将来的には私たち独自の目標と方向性を打ち出した活動を展開していきたいと考えています。

社会貢献委員会
環境保全分科会 リーダー
楠本 弘

生物多様性保全活動

京セラドキュメントソリューションズグループ各社は、生物多様性保全を環境問題の重要な課題であると認識し、従業員が積極的に参加し各地でさまざまな活動を行っています。

干潟の貴重な生態系を守るため

環境省の重要湿地500に指定されている松名瀬干潟（三重県松阪市）には日本固有のハマゴウ（セリ科）やコウボウムギ（カヤツリグサ科）などの在来種が生息していますが、外来種の増加や漂着ごみなどのため絶滅の危機を迎えています。干潟の貴重な生態系を守るため、2011年5月19日、当社玉城工場の従業員26名と子ども4名が参加し、地元のNPO自然観察指導員の協力を得て清掃活動を行いました。

三草山の希少種を守るため

大阪北部の三草山には、ゼフィルスの愛称で呼ばれるミドリシジミ類の蝶が、日本で確認されている25種のうち、10種の生息が確認されており、中でも希少種のヒロオビミドリシジミは三草山が日本の生息分布の東限となっています。2012年6月、本社と枚方工場の従業員とその家族の合計22名が、「大阪みどりのトラスト協会」のボランティアの皆様や地元の皆様の案内で、この時期にしか見られないゼフィルスの観察会を活動地で行いました。

WEBはコチラ!

「生産拠点・事業所での取り組み」

京セラドキュメントソリューションズ　生態系保護の活動　CSR　検索

ECOLOGY REPORT

環境を守るために

販売拠点、生産拠点での取り組み

「環境」をキーワードとして事業活動の推進している京セラドキュメントソリューションズグループでは、生産拠点、販売拠点を問わず、環境負荷の低減につながる活動をグローバルで展開しています。

ドイツ　第3回「京セラエコアワード」の授賞式を開催

2012年1月26日、ドイツ・シュトゥットガルトにおいて第3回「京セラエコアワード」の授賞式が行われました。

この賞は、京セラドキュメントソリューションズ ドイツ、ドイツ中小企業連盟、ドイツ環境支援協会が共同で2008年に創設し、これまで3回共催してきました。賞の目的は、持続可能性と環境保全への意識を育成し高めることにあり、応募対象は「革新的な気候変動に関連する中小企業の取り組み」としています。今回は、ドイツとオーストリアの中小企業から54件もの応募がありました。

第1位　Grenol社:バイオマス廃棄物の削減に貢献

バイオマス廃棄物を石炭に作り替える高圧貯蔵容器を開発したGrenol社が、第3回「京セラエコアワード」第1位に輝きました。数時間で、しかもわずかなエネルギーで炭を作り出すことができる容器で、バイオマス廃棄物の削減にも貢献します。

英国　Green IT Magazine Awards 3年連続受賞

京セラドキュメントソリューションズ英国は、Green IT Magazine社主催の、2012年度の「Green IT Awards 2012」の1部門である、"Environmental Project of the Year over 100 Employees"を受賞しました。Green IT Awardsは、環境保護に特に顕著に貢献した企業や製品に贈られる賞であり、企業や団体における環境活動の促進を目的として3年前に制定されました。今回の受賞は、2009年の"Green IT Magazine's Company of the Year"、2010年の"Hardware Product of the Year"に続き、3年連続となります。

グリーンパートナープログラム設立

京セラドキュメントソリューションズ イギリスは、2011年2月にグリーン・パートナー・プログラムを設立しました。このプログラムは、お取引先の環境配慮度を評価する独自の認証システムで、これにより、お取引先が「環境に優しい企業である」というブランドイメージを強化し、お客様やステークホルダーの皆様から信頼していただける企業になることを目的としています。

▲グリーン・パートナー・プラスのロゴ

PICK UP　日本国内の生産拠点での取り組み

グリーンカーテンで使用電力量を削減

玉城工場では2010年夏に引き続き、2011年度もゴーヤを使った「グリーンカーテン」による省エネ活動を実施しました。この活動は、工場の壁面をゴーヤで覆うことで工場内の温度を下げ、空調による電気使用量を減らすものです。測定結果では、工場壁面の温度が7℃も低くなっていることが判明しました。

▲立派なグリーンカーテンが完成

国内の主要生産拠点・玉城、枚方工場の取り組みを詳しく紹介

京セラドキュメントソリューションズ　サイトレポート　検索

共に生きる社会を目指して

「自利利他の心で」。
京セラドキュメントソリューションズ社内では、
あらゆる場面で聞かれるこの言葉。
利己的な思いを抑え他者への思いやりの心を
もつことが、自身の心を高めさらなる成長に繋がる。
当社の社会貢献活動はこの精神のもと
「自分たちで決めて、自分たちで実行する」
社員主導の取り組みを行っています。

一人ひとりの心から広がる支えあいの輪。社員主導で取り組む社会貢献活動

支援する側が一方的に支援される側を支えるのではなく、双方が共に歩み、共に成長していける。それこそが私たちが想い描く「共に生きる社会」です。そんな社会の実現を目指し、当社ではさまざまな社会貢献活動を展開。単なる企業の取り組みとしてではなく、社員一人ひとりの心を高めることを前提として、社会貢献委員会を立ち上げ、活動内容の決定から実行まですべて社員主導で行っています。一人ひとりの心にめばえた支援の芽を、周りの人々から地域へとしっかりと根付かせていく。そんな心豊かな支え合いの輪を広げていくことが「共に生きる社会」を実現する上では不可欠であり、その発信こそが私たちが担うべき重要な役割だと考えているからです。

福祉施設の手作りパン・クッキーの社内販売

社会で自立する自信を深める場としての社内販売

京セラドキュメントソリューションズ本社では、障がい福祉サービス事業所、蓮根会「ウィタン」の成果物（パン・クッキー）の社内販売を他の授産施設と交互に、隔月で行っています。この取り組みは、当社社員との交流を通じて施設通所者の皆様に働く喜びを実感していただき、社会に自立していく自信を深めてもらいたい。また、施設の事業活動に貢献したいという想いから2008年にスタート。枚方工場、東京R&Dセンターでも同様の取り組みが行われています。

VOICE

社内販売を通して変化していく通所者たち

社員さんとの交流を通じて全身で働く喜びを感じています。

私たちの施設、「蓮根会」では授産活動を通じて通所者に一般社会の就業に近い環境を提供。働く喜びを感じ、働く意欲を高め、通所者が社会で自立していく自信を深めることを目的に活動しています。販売を始めた当初、通所者の子たちは「大丈夫かな」とすごく心配していました。障がい者は社会に出ると思いを上手に相手に伝えられず落ち込んでしまうことが多いんです。でも、実際に来てみるといつも明るく働いていますね。社員さんの応対がすごく温かくて、皆さん「ありがとう」と言葉をかけてくださいますし、パンはいつでも完売！ みんなが働く喜びを全身で感じています。

社会福祉法人 蓮根会
サービス管理責任者
本木准子さん

施設との交流で変化した社員の心

「身近なことから社会貢献ができる」という意識が高まってきました

最初は社員の関心を集めるのが大変でしたが、最近はずいぶん浸透してきました。この販売で初めて授産施設の活動を知ったという者も多いのですが、「特別にかまえた気持ちがなくとも身近なことで社会貢献ができる」という意識が高まってきたように感じます。今後、より多くの施設の方に、この場を使って自立への一歩を踏み出してほしいです。また、そういった方との交流を通じて一人でも多くの社員が自発的に社会貢献に取り組むようになってほしいですね。

活動を支える社会貢献委員

2007年に発足した貢献委員会の分科会のひとつ、社会福祉分科会では、障がい者の授産施設の成果物の販売支援と大阪市児童福祉施設連盟の活動支援を担当。社員一人ひとりが「共に生きる社会」への理解を深め、個人でも継続的な社会貢献に取り組んでいく。そんな心の輪を広げるための活動を展開しています。

WEBはコチラ！

「社会貢献活動」

京セラドキュメントソリューションズ　共に生きる社会を目指して　CSR　検索

SOCIAL CONTRIBUTION

共に生きる社会のために

社会貢献への取り組み

地域に寄り添いながら未来を担う子どもたちのために

2012年で6年目となる社会貢献委員会は、「未来を担う子どもたちの健やかな成長と育成を願い、その教育の一助となる活動」を基本理念とし、大阪市内の小学校を対象とした理科実験授業や、大阪市の児童福祉施設の活動支援などに取り組んでいます。子どもたちの笑顔と笑い声に触れることができ、活動に参加した多くの社員にとっても大きな活力となり、企業活動の原動力ともなっています。これからも、未来を担う子どもたちのために、地域に密着した地域社会に貢献できる活動、長期に継続的に実施できる活動を主軸に取り組んでいきたいと考えています。

社会貢献委員会議長
牧浦 義則

社会貢献活動

当社は、「企業も社会の一員である」との認識に立ち、いつの時代も地域・社会の発展を支える企業市民としてその責任を果たし、事業のみならず、さまざまな社会貢献活動を通じて、世のため人のために尽くす集団であり続けたいと考えています。

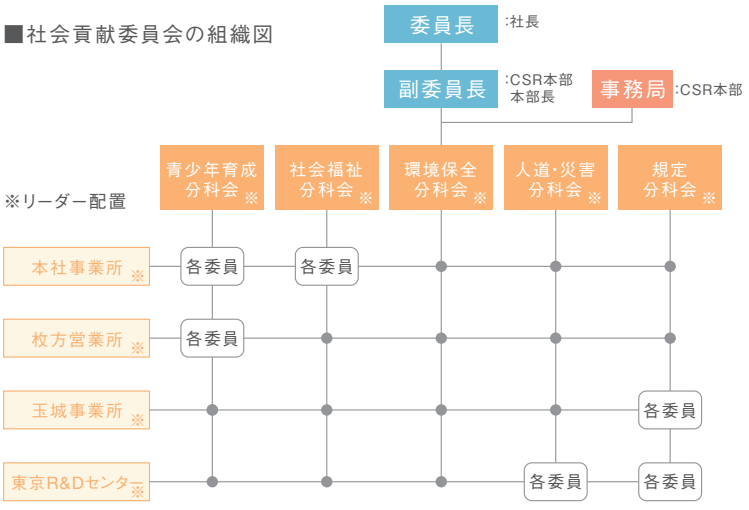
社会貢献委員会の方針と組織

5項目の活動方針

1. 地域に密着した身近な活動に取り組む
2. 一時的でない、継続して取り組める活動
3. 未来を担う子ども達の育成、教育に関連した活動
4. 環境保全に役立つ取り組み
5. 社員が参加できる取り組み

私たちは、2007年5月に社会貢献委員会を発足させ、以下の体制で分科会活動を進めています。社会貢献委員会では左記5項目の活動方針に則って実践していくことを、基本的な考え方としています。

■社会貢献委員会の組織図



WEBはコチラ!

「社会とのかかわり」

京セラドキュメントソリューションズ　社会とのかかわり　CSR　検索

SOCIAL CONTRIBUTION

共に生きる社会のために

各分科会の取り組み

京セラドキュメントソリューションズの社会貢献活動は、社会貢献委員会のもと、「青少年育成分科会」「社会福祉分科会」「環境保全分科会」「人道・災害分科会」「規定分科会」の5つの分科会で推進しています。それぞれの分科会では毎年目標を決め活動を進めており、2007年から5年の間に従業員に浸透し定着しています。

青少年育成分科会

理科大好き“なにわっ子”育成事業を継続

当社では、2008年から大阪市内の小学校で「理科大好き“なにわっ子”育成事業」に取り組んでいます。理科の学習内容が先端製品や身の回りの製品に応用されていることを学ぶ「実験授業」を通して、子どもたちの理科への関心を高め、学習意欲の向上を図っています。

▲大阪市立鶴見南小学校での授業

▲大阪市立茨田北小学校での授業

その他の活動

●中学生の職場体験学習の受け入れ
●環境出前授業Kids’ ISOの実施

社会福祉分科会

大阪市児童福祉施設（連盟）の活動をサポート

当社は「未来を担う子どもたちの育成・教育など、子どもたちの健全な育成に役立つ取り組みを主軸とする」という考え方を基本に、本社事業所をはじめ事業所ごとにさまざまな活動に取り組んでいます。

▲養護施設の児童を野球観戦に招待

▲駅伝ロードレース大会を支援

▲野球大会を開催

▲新春こども大会を開催

人道・災害分科会

献血ボランティア活動を実施

人道・災害分科会では、献血ボランティア活動を本社、枚方、玉城の3事業所で継続実施しています。2011年度は、3事業所を合わせて464名が採血に協力。また、1971年から取り組んでいた枚方事業所は、その活動が高く評価され、大阪府の橋下知事から感謝状をいただきました。

▲枚方事業所での献血

▲玉城事業所での献血

その他の活動

●台風12号被害者義捐金
●歳末助け合い募金

環境保全分科会

コウノトリの保護活動に協力

兵庫県北部の豊岡市では、「コウノトリの棲める環境が、人間にとっても安全で安心な、真に豊かな持続可能な社会である」とのビジョンのもとに官民一体となって、絶滅の危機にあるコウノトリの保護活動に取り組んでいます。当社はこれに賛同し、コウノトリの餌となる多様な小動物のいる湿地の回復維持を行う活動を2010年から継続しています。

その他の活動

●琵琶湖生物多様性保全活動の支援
●松名瀬干潟の生物多様性保全活動の支援

海外事業所の取り組み

世界各国でさまざまな活動を行なっています

京セラドキュメントソリューションズ アメリカ

乳ガン患者への支援に参加

”Lee National Denim Day Fight against breast cancer”の活動に参加しており、2011年10月7日に従業員が募金活動を実施。乳ガン撲滅のための研究資金として約1,300ドル（約10万円）を寄付しました。

ハリケーン被害復興への支援活動

2011年8月にアメリカ東部を襲ったハリケーン「アイリーン」による洪水被害からの復興を支援するため、従業員が9月9日、自発的に寄付活動を行い、合計290ドル（約22,000円）の寄付金を集めました。

京セラドキュメントソリューションズ 南アフリカ

職業訓練・就職支援施設をサポート

企業の社会的責任の一部として、過去6年間、経済的に恵まれない人々に職業訓練や就職支援を行う”Potters Houseトレーニングセンター”をサポートしています。2011年4～12月には合計180,400ZAR（約177万円）を寄付するとともに、京セラ製品や消耗品を無償で提供しました。

起業家支援団体へ費用援助

”The Hope Factory”を通して、南アフリカの起業家の自立を支援しています。2011年4～12月には合計15万ZAR（約147万円）を職業訓練充実のために寄付しました。

黒人女性の経済進出を支援

小企業の設立を支援する黒人経済力強化政策（BEE）企業のパートナー ”Nozala Investments”など、経済的に恵まれない黒人女性の経済進出を促進・支援するプロジェクトを支援。持続可能な経済発展、黒人や歴史的に不利な立場にいる女性の社会的地位の向上を促進しています。

京セラドキュメントソリューションズ タイ

大洪水被災者救援

2011年7月以降にタイ北部や中部で発生している記録的な洪水の被災者を救済するため、10月12日、同社の従業員が自発的に募金活動を行い、タイ赤十字社を通じて6万バーツ（約15万 円）とプリンター 1台を寄付しました。

香港関連企業グループ

海岸・公園の清掃活動

グループ3社の社員が、2011年12月3日と2012年1月7日に清掃活動を実施。これまでにも年1回香港各地の海岸や公園の清掃を行ってきましたが、これまで以上に、2011年度は公園2カ所に範囲を広げました。

ウォーキングイベントを通じて寄付

グループ3社では新しい試みとしてチャリティイベント「公益金 百萬行」に12名の社員が参加。全員が完走して、合計1,200香港ドルの募金を行い、香港赤十字社や家庭や児童福祉関連の慈善団体等に寄付された公益金総額2,100万香港ドル（2011年）の一部を担うことができました。

TOGETHER WITH CUSTOMERS

お客様のために

品質保証の取り組み

お客様の声に 耳を傾け、本当に 求められている製品を

2年前から、コールセンター情報を活用する新しい取り組みをしています。毎月4万件を超えるお問い合わせを細かく分析し、その結果を開発技術者が直接確認、新たな製品作りに活かしています。同じデータでも、見方を変えていくと全く違った発見があり現状の改善点はもちろん、未来へのヒントをお客様からいただいています。今後は、データ分析の切り口を増やすなど分析からフィードバックまでの仕組みを進化させていきながら、もっと社内で浸透させていきたいですね。「お客様が何を求めているのか」を常に考えながら、他社にはない新しい製品を作りだしていきたい、と考えています。

品質保証本部
品質保証統括部 部長
渡士 正弘

品質保証体制

品質方針

1 現場主義の品質保証:
品質保証本部の取り組み

2 開発からサービスまで:
顧客起点の品質PDCAの構築

現場主義の品質保証（品質保証本部の取り組み）

品質保証本部は、お客様の下で当社の製品が常に安定して稼働するよう各種評価認定を行うとともに、市場からの情報を基にして、よりよい製品、お客様に喜んでいただける製品となるためのサポートを行っています。

開発からサービスまで（顧客起点の品質PDCAの構築）

製品の設計・開発段階においてはお客様目線を最も重視し、その信頼性評価においては、実際の使用環境を踏まえた評価を実施。さらに市場サポートを通していただいたお客様の声を次の製品に反映させる「品質のPDCA」がまわるものづくりを進めています。

高信頼性の実現に向けて

お客様のもとで製品が常に安定して稼働するよう、開発段階で国内外の販売会社スタッフを招き、各国特有の環境や使われ方で発生する問題点を合同で評価するとともに、各地域の販売会社において、製品が市場に出る前に顧客目線での商品評価を行います。商品特性を把握するための約1,000項目のさまざまなテストを行い、改善を図っています。

PL管理規定

当社は、製品が販売される対象国の公的機関による製品安全に関する規制（安全規格・レーザー規格・環境規制など）への適用はもちろん、当社独自の「PL管理規定」を制定し、製品安全確保の対応手順と各部門の役割を明確に定め、事故を未然に防いでいます。

WEBはコチラ!

「お客様とのかかわり」

京セラドキュメントソリューションズ　品質保証体制　CSR　検索

TOGETHER WITH
BUSINESS PARTNERS

お取引先との連携のために

京セラドキュメントソリューションズでは、重要なパートナーであるお取引先と連携して社会の進歩発展に寄与していきたいと考えています。そのためにも当社が推進しているCSR経営の基本理念をご理解いただくとともに、環境理念、京セラドキュメントソリューションズ購買基本方針、化学物質管理基準等の順守をお願いしています。

購買活動の基本的な考え方

購買基本方針

1. 購買部門は、公明正大を旨とし「自利利他」の精神と、信頼関係に基づくお取引先とのパートナーシップの構築・発展に努めます。
2. 購買活動において、各国の法令を順守するとともに、地球環境保全・資源保護などの社会的責任を果たしていきます。
3. 国内外全ての企業に、公平な機会を設け、公正な評価基準のもとに購買活動を行います。
4. 市場に最良の商品を供給するために、最適な品質と価格の追求、安定供給の確保について、お取引先とともに努力をし続けます。

公正・公平な取引の実施

当社はお取引先を専門知識と技術を持つ必要不可欠のパートナーと考え、京セラフィロソフィをベースとした「公明正大」「自利利他の精神」に基づいて、お取引先との共存共栄を追求しています。

下請法の順守

下請法順守を徹底するために、社内の各拠点の資材担当者や外注管理担当者を対象に社内教育を継続実施。各部署では日々の業務と年1回の内部監査で順守状況をダブルチェックしています。また、法改正など常に新しい情報を積極的にとり入れています。

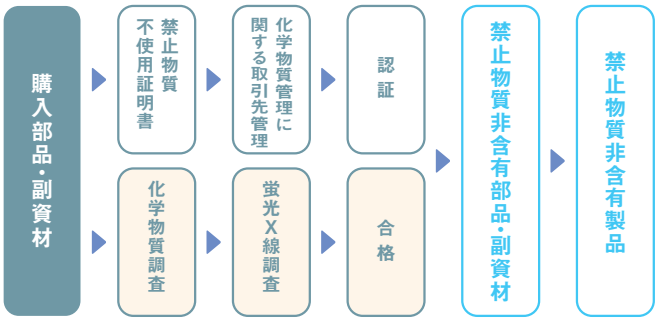
化学物質管理への取り組み

グリーン調達の推進

法令で禁止されている物質を含まない製品をつくるため、当社はすべての部品・材料・副資材について含有化学物質調査を行うとともに、各工場に蛍光X線分析装置を設置して、EUのRoHS指令で使用を制限された特定有害物質6物質※の非含有を確認しています。調達も化学物質管理体制の構築の認証が得られたお取引先のみから行っています。

※ (1)鉛、(2)水銀、(3)カドミウム、(4)六価クロム、(5)ポリ臭化ビフェニール(PBB)、(6)ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE)

■グリーン調達の取り組み

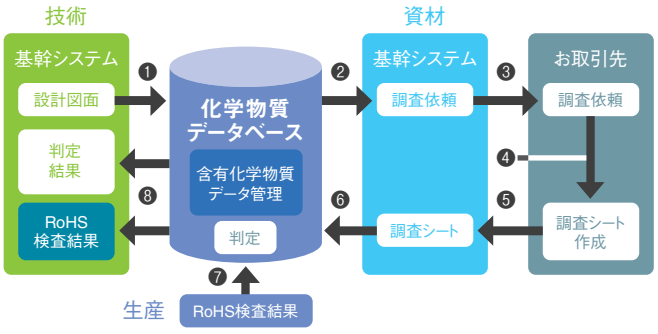


グリーン調達システム

化学物質調査を確実に効率よく行うことを目的として、2007年から化学物質データベースを導入・運用し、技術系、生産・資材系の基幹システムとも連携させています。お取引先の協力のもと、2011年3月までに23万件を超える調査を実施しました。2011年はREACH規則※にも対応可能となるよう検討を進めていきます。

※Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicalsの略。欧州における化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則。

■グリーン調達システム



TOGETHER WITH EMPLOYEES

社員のよりよい人生のために

異文化体験を糧に、今後も可能性を広げていきたい

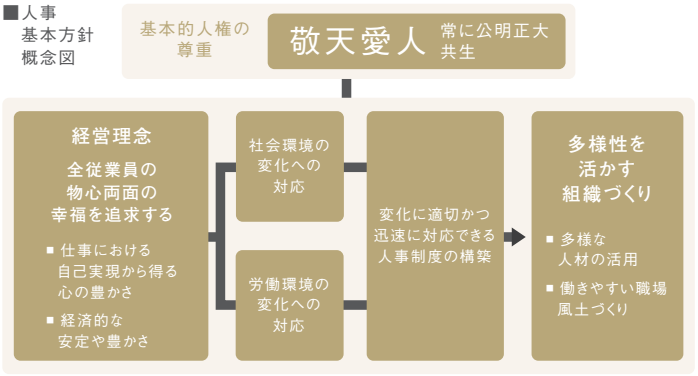
私は、入社以来、国内営業を担当し、海外に関する業務とは無縁でした。しかし、いつかは、海外関連の業務に就きたいと思っていたため、海外短期研修制度に思い切って応募しました。研修で5カ月間を過ごしたイギリスの販売会社は、事業所の責任者以外がすべて現地スタッフだったので、話す内容、考える手順、それに対するアプローチの手順やスピードが日本とはまったく異なっており、新鮮さと驚きを感じるとともに非常に勉強になりました。研修終了後は海外販売会社のサポート業務を経験し、今年7月からはヨーロッパの統括販売会社に出向しています。新たなフィールドでグローバルに活躍できることを実感している毎日です。

京セラドキュメント
ソリューションズ ヨーロッパ
中西 隆之

人事の基本的な考え方

1. 価値観の多様化、高齢化といった社会環境の変化への対応
2. 雇用の流動化や企業活動のグローバル化といった労働環境の変化への対応
3. それぞれの国の特性や生活文化を常に意識しながら、適切かつ迅速に対応することのできる人事制度の構築

■人事基本方針概念図



制度の充実

社会人として働きがいのある人生を送るためには、家族を大切にし、仕事と家庭を両立させることが大変重要です。京セラドキュメントソリューションズでは、全社員が計画的に有給休暇を取得し、リフレッシュしながら働く意欲を向上させ、有意義な社会人生活を送ることのできる制度を充実させています。

さまざまな休暇制度

有給休暇と土・日曜日を組み合わせて取得する9連続休暇や5連続休暇（勤続5年ごと）などの長期休暇制度や、リフレッシュや自己研鑽に利用できる多目的休暇制度の導入によって、年々有給休暇の取得数が向上しています。

働きやすい職場環境を目指して

社員の仕事と家庭の両立を支援するため、1歳未満の子どもを持つ社員（有期雇用含む）の育児休職、家族の介護にあたる社員の介護休職、子どもを養育する社員のための短時間勤務などの制度を導入。今後も充実を図っていきます。

WEBはコチラ!
「社員とのかかわり」
京セラドキュメントソリューションズ　人事の取り組み　CSR
検索

事業概要

BUSINESS OUTLINE

京セラドキュメントソリューションズ
デベロップメント アメリカ
(サンフランシスコ)

チェコ共和国トナー工場

ヨーロッパ統括本社(オランダ)

アメリカ 統括本社

アメリカ統括地域

<販売会社・支店>

京セラドキュメントソリューションズ アメリカ本社
- ニュージャージー支店
- イリノイ支店
- カリフォルニア支店
- ジョージア支店
- テキサス支店

京セラドキュメントソリューションズ カナダ
京セラドキュメントソリューションズ メキシコ
京セラドキュメントソリューションズ ブラジル

ヨーロッパ統括地域

<販売会社・支店>

京セラドキュメントソリューションズ ヨーロッパ本社 (オランダ)
京セラドキュメントソリューションズ ヨーロッパ スイス支店
京セラドキュメントソリューションズ 中東支店 (UAE)
京セラドキュメントソリューションズ ドイツ
京セラドキュメントソリューションズ イギリス
京セラドキュメントソリューションズ フランス
京セラドキュメントソリューションズ イタリア
京セラドキュメントソリューションズ オランダ
京セラドキュメントソリューションズ ベルギー
京セラドキュメントソリューションズ スペイン
京セラドキュメントソリューションズ ポルトガル
京セラドキュメントソリューションズ オーストリア
京セラドキュメントソリューションズ ロシア
京セラドキュメントソリューションズ 南アフリカ
京セラドキュメントソリューションズ ノルディック (スウェーデン)
京セラドキュメントソリューションズ ノルディック ノルウェー支店
京セラドキュメントソリューションズ デンマーク
京セラドキュメントソリューションズ フィンランド

会社概要 CORPORATE PROFILE

社名	京セラドキュメントソリューションズ株式会社 (KYOCERA Document Solutions Inc.)
本社	〒540-8585 大阪市中央区玉造1丁目2番28号 TEL.06-6764-3555(大代表)
代表者名	代表取締役社長　駒口 克己
創立	1934年11月
設立	1948年7月 三田工業株式会社 2000年1月18日 京セラミタ株式会社へ社名変更 2012年4月1日 京セラドキュメントソリューションズ株式会社へ社名変更
資本金	120億円(京セラ株式会社100%)
年商	2,423億円(京セラドキュメントソリューションズグループ 連結売上2012年3月期実績)
従業員数	15,066人(京セラドキュメントソリューションズグループ 全体2012年3月末現在)
関連子会社	国内:販売会社1社 海外:販売会社30社、生産会社2社、物流会社1社 その他関連会社42社

※資本金、年商の記載金額は億円未満は四捨五入しています。

本社及びR&Dセンター（大阪）

アジア 統括本社（香港）

石龍工場（中国）

東京R&Dセンター（東京）及び
京セラドキュメントソリューションズ
ジャパン本社

玉城工場（三重）

枚方工場（大阪）

ベトナム工場

アジア統括地域

＜販売会社＞
京セラドキュメントソリューションズ アジア本社 (香港)
京セラドキュメントソリューションズ 中国
京セラドキュメントソリューションズ 韓国
京セラドキュメントソリューションズ 香港
京セラドキュメントソリューションズ 台湾
京セラドキュメントソリューションズ タイ
京セラドキュメントソリューションズ シンガポール
京セラドキュメントソリューションズ インド

日本統括地域

＜事業所＞
京セラドキュメントソリューションズ 本社 (大阪)
＜販売会社＞
京セラドキュメントソリューションズ ジャパン
京セラドキュメントソリューションズ オーストラリア
京セラドキュメントソリューションズ ニュージーランド

グループ会社

TAトライアンフアドラーグループ (ドイツ)

研究開発拠点

京セラドキュメントソリューションズ 本社R&Dセンター (大阪)
京セラドキュメントソリューションズ 東京R&Dセンター (東京)
京セラドキュメントソリューションズ デベロップメント アメリカ
(サンフランシスコ・ロサンゼルス)
京セラドキュメントソリューションズ デベロップメント フィリピン

生産物流拠点

京セラドキュメントテクノロジー 石龍工場 (中国)
京セラドキュメントテクノロジー ベトナム工場 (2012年10月稼働予定)
京セラドキュメントテクノロジー 香港
京セラドキュメントソリューションズ 玉城工場 (三重)
京セラドキュメントソリューションズ 枚方工場 (大阪)
チェコ共和国 トナー工場

国内事業所　京セラドキュメントソリューションズ 東京R&Dセンター
〒158-8610
東京都世田谷区玉川台2丁目14-9
TEL .03-3708-3851

関連会社　京セラドキュメントソリューションズ ジャパン
〒158-8610
東京都世田谷区玉川台2丁目-14-9
TEL.03-4232-2100

KYOCERA
Document Solutions

京セラドキュメントソリューションズ
〒540-8585 大阪市中央区玉造1丁目2番28号
TEL:06-6764-3555（大代表）
お問合せ先:CSR本部
http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp

記載内容は2012年10月現在のものです。
©2012 KYOCERA Document Solutions Inc.